

# 会 議 録

## 1 会議名

第 47 回上越市美術展覧会 第 3 回運営委員会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ・協議事項

#### ■報告

・第 47 回上越市美術展覧会の結果について（公開）

#### ■協議

（1）第 48 回上越市美術展覧会について（公開）

（2）無鑑査出品候補者の推薦について（公開）

（3）その他（公開）

## 3 開催日時

平成 30 年 2 月 7 日（水） 午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分まで

## 4 開催場所

市民交流施設高田公園オーレンプラザ 研修室

## 5 傍聴人の数

0 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した委員（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

委 員：筑波 進（委員長）、小林 充也、大口 満、松尾 大介、大藏 豊彦、

小川 恵子、押木 秀樹、山田 真一、藤野 正二、木村 信子

（以上 10 人出席）

事務局：（社会教育課）小池課長、加藤係長

## 8 発言の内容

### 1 開会

### 2 運営委員長あいさつ

（委員長）： 悪天候の中、また大変忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。  
今年度のまとめとなりますので、皆様から慎重にご審議いただきますようお願いいたします。

### 3 報告

#### 第 47 回上越市美術展覧会の結果について

(事務局) : (資料 1 から 12 ページに基づき説明)

(委員長) : 資料 1 から 5 ページで意見等がありますか。

(委員一同) : 意見等なし

(委員長) : 資料 6 から 12 ページのアンケート結果については、後ほど意見交換することとして、次の議題に入ります。

### 4 議題

#### (1) 第 48 回上越市美術展覧会について

(事務局) : (資料 13 から 21 ページに基づき説明)

(委員長) : 会期について、意見などありませんか。

(委員一同) : 質問、意見等なし

(委員長) : 会場について、今回は開催会場数を見直す提案であることから、意見を求めます。1 案では、1 会場で全てを展示できる利点がありますが、スタジオ・リハーサル室は、下足の脱ぎ履きが生じてしまいます。2 案は、2 会場の分散開催となりますが、書道部門をミュゼ雪小町で計画することによって、これまでのように展示パネル下部に幕を張る作業が無くなります。また、工芸部門は多目的室を使わずに、ギャラリーのガラス展示ケースを活用することも考えられます。なお、旧第四銀行高田支店は、同時期に開催される「城下町高田花ロード」で過去に使用していた経緯があり、今後はこの使用計画があると聞いていることから、市展会場としての計画はしていないとのことです。

(押木委員) : オーレンプラザのスタジオ・リハーサル室にマットを敷くなどの対応で、1 会場開催も良いのかなと考えます。マット対応は可能ですか。

(小池課長) : マットを敷く対応は可能です。しかし、スタジオ構造であることから出入口が狭く重厚なドアの開閉が伴うことや、資料 14 ページのとおり、展示面積が、現行の 6 割程度しか確保できない状況になります。

(委員長) : オーレンプラザは定期利用者が多い状況と聞いていることから、展示面積を増やすと他への影響も大きくなります。1 会場での開催を求める意見を意識しながら、運営委員会としての意思決定を行いたいと思います。

(山田委員) : 1会場での開催はベストと考えますが、展示スペースが狭くなることは懸念があります。

(小池課長) : 現行の状況から改善できる点として、駐車場の課題解決ができます。オーレンプラザ周辺は約900台が駐車可能であり、ミュゼ雪小町は駐車場が1時間無料となっていることから、駐車場料金の負担に関する要望は改善できるものと思います。

ミュゼ雪小町は、スタジオ構造とは異なりギャラリー仕様のため、展示環境は整っています。

(小林委員) : 1会場での要望はありますが、展示スペースが現行の6割程度となると手狭ですので、2会場開催をせざるを得ないと考えます。しかし、3会場から2会場開催の見直しは、1会場開催に向けた機運醸成につながればと思います。

(押木委員) : 開催会場は歩いて巡ることが最善ですので、今後は、高田公園内の小川未明文学館の市民ギャラリーや総合博物館、小林古径記念美術館も視野に入れ、市展以外の美術・芸術に触れられる機会を提供できればと考えます。

(小池課長) : 高田公園内の各施設での開催については、関係課に情報を渡すとともに方策を探っていきたいと思います。

(山田委員) : ゆったりとした空間の中で計画を進めたいと思いますので、2会場での開催はやむを得ない選択と考えます。

(委員長) : 開催会場について、ほかに意見等がありますか。

(委員一同) : 意見等なし

(委員長) : 会場は、2会場で開催する案で方向付けすることでよいですか。

また、各部門の展示スペースは提案を軸に計画していくことでよいですか。

(委員一同) : 意見等なく、了承

(委員長) : シャトルバスの運行について、路線バスが運行される経路上に会場は所在していますが、これまで以上に利便性が高まるよう継続して計画すべきと考えますが、意見等がありますか。

(委員一同) : 意見等なく、了承

(2) 無鑑査出品候補者の推薦について

(事務局) : (資料 22 ページに基づき説明)

(委員長) : 無鑑査の認定について、書道部門から意見ををお願いします。

(山田委員) : 書道部門の 1 名は、無鑑査に相当する成績を収めており、認定に値するものと考えます。

(委員長) : 書道部門の 1 名を認定することによいですか。

(委員一同) : 意見なし

(委員長) : その他ありませんか。

(委員一同) : 意見なし

5 その他

(委員長) : その他ありますか。

(委員一同) : なし

(委員長) : 事務局から、その他ありますか。

(事務局) : (別途配布のパンフレットに係る事務連絡)

6 第 47 回上越市美術展覧会のアンケートに係る意見交換

(委員長) : 最後に、アンケートに係る意見交換を行います。

資料 10 から 12 ページを中心に発言をお願いします。

(大口委員) : 洋画・版画部門は審査員に係る意見が多くなっています。意見のあることについては、文学的な講評でもあったことから、高度で難しく理解しにくかったものと思われます。

(委員長) : 精神論などを含めた講評も大切であり、苦情も大切な意見です。

なお、審査員は同じ人に長年お願いしないこととして配慮しています。

また、審査員を外部から招聘して公平性の確保に努めています。

(藤野委員) : アンケート結果は写真に係る意見が多いと感じています。また、運営委員の変更を求める意見があります。運営委員会の内規などで委員を務められる年限は決められないでしょうか。審査員招聘のために中央と精通した後継者がいるかどうかという課題も残ります。

(委員長) : 現状として、内規などに年限を定めていないです。写真部門に対する意

見は、ご意見番からの大切な苦情と考えています。

なお、審査員は同じ人に長年お願いしないこととして配慮しています。審査員を中央から招聘できるネットワークが必要です。地元での活動で留まっている人材は運営委員は務まらないと考えています。

(山田委員) : アンケート結果は全体的に好評となっており、苦情は一部の意見とも捉えられます。苦情は大切ですが、こだわりすぎないことも大切と考えます。

(藤野委員) : 開催会場が改まることから、期待を持って、反省も踏まえて取り組んでいきたいです。

(委員長) : 人材が不足している現状は確かであるが、簡単に解決できるものではないと考えています。

(小池課長) : 市展に限らず、事業に対する賛否は必ずあります。改める必要があるものは改め、計画していく姿勢が大切と考えます。

(委員長) : 各会場を巡回する作品鑑賞会プランを企画して欲しいとの意見がありますが、対象者のターゲット設定の難しさなどがあることから、まずは意見として伺っておくことにします。

(委員長) : そのほか、意見などありませんか。

(委員一同) : 意見等なし

## 7 閉会

(事務局) : 以上をもちまして、第47回上越市美術展覧会第3回運営委員会を閉会いたします。

## 8 問合せ先

教育委員会 社会教育課 生涯学習係 TEL : 025-545-9245

E-mail : shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

## 9 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。